

農業委員会だより



むらかみ

No.4

平成24年3月



地元産のおいしい杵つき餅

村上市立三面小学校では、毎年文化祭において子供達が餅つきをしています。長年、食育事業の一環として地元産のもち米を使い、臼と杵を使った昔ながらの餅つきに、秋の収穫に感謝し、身も心も満たしている光景です。

農業委員会として、今後も安心安全な食材を提供できるよう、生産者の立場として応援して参りたいと考えています。

ご挨拶



農業委員長

石山 章

昨年は、東日本大震災を始めとして、豪雪、豪雨と自然災害が多発し、尊い命を奪われた犠牲者のご冥福と、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

日本経済は、長引くデフレや急激な円高の進展等で、依然として厳しい状況にあり、農業におきましても、昨年十一月に政府は、TPP関係国と交渉参加に向けての協議入りを表明しましたが、今年は、関係国との協議の開始や、規制制度改革など、農業を取り巻く情勢は、加速度的に変貌しつつあります。

国益を損なうTPP交渉参加阻止に向けて、各界各層と連携しながら、引き続き組織を挙げて取り組んで参ります。

農林漁業再生基本方針が示され、農業が儲かる産業にするため、規模拡大、コスト低減、担い手の確保と食の安全等を一体的に進めるために、二十四年度は、地域農業マスタープランの作成に取り組んで参りますので、皆様方のご支援ご協力をお願いいたします。

■発行 新潟県村上市山口444番地 村上市農業委員会 広報委員会

■TEL 0254-62-3101 FAX 0254-62-5275

■ホームページアドレス <http://www.city.murakami.lg.jp> ■メールアドレス noi@city.murakami.lg.jp

就任の挨拶



会長職務代理

遠山 利一

平成二十三年七月の農業委員改選により、公選二十名、議会推薦四名、団体推薦四名、合計三十八名が選ばれました。地域の担い手が安定的農業経営ができるための農業委員活動を目指し、会長職務代理に恥じないように努力し、村上市の基幹産業の中心である農業振興に努めてまいりますので、宜しくお願いいたします。

昨年三月十一日に発生した東京電力福島原子力発電所の事故による放射能汚染の被害により、いまだにその地域の復興再建が出来ない状況の中、多くの国民から食糧の安全安心ということが強く求められており、農産物を生産販売している農業者の一人として、農業の尊さを改めて感じています。被災地の早期復興を、ただただ願うものであります。

さて、二十一分野にわたる

環太平洋連携協定（TPP）に対して、政府は交渉に向けて関係各国との協議を行っております。農業委員会系統組織が一丸となって「TPP参加阻止」に向けた運動を今後も行っております。今年の五月頃に予定されるであろう「日米首脳会談が最大のヤマ場」との情報もあり、「消費税の増税」という大きな問題もあるため、今後の政府及び関係各国の動きを注視していくことを皆様にお伝えし、私の挨拶と致します。

新任委員の抱負



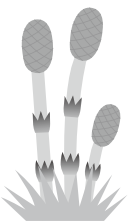
本間 裕一

昨年八月の農業委員改選に伴う選挙で、朝日地区より選出され早いもので半年がたとうとしております。当初、農業委員という立場をよく理解できていないまま、毎月の定例総会を始め研修会、農地パトロール、現地調査等に出席してきましたが、先輩委員また事務局の皆様のご指導をい

ただきながら、勉強していくうちに農業委員の責任と役割の大きさを、いまさらながら感じているしだいです。

日本の農業の厳しさが問われ始めて久しいですが、いまだ先が見えず厳しさが増していくばかりで不安要素を挙げればきりがありません。

私たち農業委員は、これから農業で頑張っていくこととする若者が安心して元気に楽しく仕事ができるよう、地域のために貢献することはもとより、行政に対してもしっかりと発言していかねばと思います。幸いにも、会長をはじめとする先輩委員・事務局の方々が親切にいろいろ教えてくださいたいです。これからまだまだ学ばなければならぬことがたくさんありますが、農業委員としての自覚を持ち、皆様のお役にたてるよう努力していきたいと思っております。



山北地区の地産地消、地域興しのメインである赤カブつみ



荒川直売所での農業六次化を目指す、地産地消を目標にコンニャク作りの活動に励んでいます。

農業委員会活動報告

（平成22年10月～平成24年1月）

- 10月26日 定例総会
- 食育部会
- 農地調整部会
- 11月8日 新潟県農業委員研究会集會
- 9日 佐渡市農業委員研修視察
- 10日 TPP交渉への参加に反対し日本の食を守る緊急全国集會
- 12日 農地パトロール
- 15・16日 女性農業委員研修会
- 26日 定例総会
- 30日 農政振興部会
- 12月8日 「TPP交渉」に関する緊急建議
- 20日 農業経営改善計画認定審査会
- 21日 食育活動
- 24日 定例総会
- 1月19日 農業委員選挙人名簿登載新申請書審査会
- 26日 定例総会
- 2月25日 認定農業者等関係団体との懇談会
- 3月10日 農地調整部会
- 23日 定例総会
- 26日 J A 岩船米生産者集

担当委員の紹介

	氏名	居住地	担当地区		氏名	居住地	担当地区		
山北地区	河面 秀喜	大 毎	鵜泊、寝屋、碁石、勝木、間瀬、下大蔵、立島、長坂、遠矢崎、板屋沢、垣之内、北赤谷、下大鳥、上大鳥、北田中	朝日地区	相馬 功	早稲田	早稲田、塩野町、松岡		
	加藤 安登	大 毎	大沢、大毎、北中、北黒川、荒川、中津原		飯沼 和英	岩 沢	中原、朝日中野、薦川、岩沢		
	菅原 豊勝	中 継	小俣、大代、雷、中継、山熊田		佐藤 健吉	関 口	高根、北大平、関口、黒田		
	富樫 力雄	堀ノ内	府屋、岩崎、中浜、伊呉野、堀ノ内、温出、大谷沢、塔下、杉平、遅郷、岩石、荒川口、朴平		島田 敏	下新保	下新保、大場沢		
	斎藤 泰	越 沢	浜新保、桑川、笹川、板貝、今川、脇川、寒川、芦谷、越沢		本間 進二	布 部	岩崩、荃太、千縄、布部、猿田		
	遠山 利一	牛 屋	牛屋、福田、塩谷、川部、小岩内		中山 和衛	大須戸	荒沢、大須戸、蒲萄、原小須戸、本小須戸		
神林地区	竹内 英治	新飯田	今宿、大塚、湯端、高御堂、小口川、新飯田、岩船駅前	本間 裕一	中新保	荒屋、中新保、堀野、石住、上中島			
	板垣 栄一	桃 川	桃川、飯岡、北新保、長松	佐藤 庸夫	寺 尾	寺尾、宮ノ下、下中島、鵜渡路、上野、川端			
	遠山 久夫	宿 田	宿田、平林、葛籠山、湯ノ沢	渡辺 幸吉	板屋越	猿沢、松原、板屋越			
	増田 嘉美	牧 目	南田中、牧目、九日市、松喜和	船山 寛	小 川	古渡路、あけぼの、小川、十川、笹平、瑞雲、釜杭、小揚、熊登			
	田中 安弘	松 沢	松沢、岩野沢、山田	村上地区	工藤 壽一	八日市	八日市、岩船三日市、岩船、村上、本町		
	斎藤 裕助	河 内	河内、南大平、指合、殿岡		稲葉 浩之	山辺里	山辺里、西興屋、仲間町		
	木村 壽一	七 湊	七湊、志田平、小出、有明		山田 昭夫	門 前	赤沢、門前、大栗田		
	鈴木 和弘	上助測	上助測、下助測、山屋、里本庄		渡辺 修平	松 山	松山、三面、浜新田、瀬波、下渡、羽下ヶ淵、大平、岩ヶ崎、大月、野瀧、間島、柏尾、吉浦、早川、馬下		
荒川地区	石山 章	切 田	荒川地区全域		東海林節子	松 山	鍋倉 静雄	大 関	大関、鑄物師、袋、菅沼
	富樫 照子	切 田			漆間 平	大 関		下相川、上相川、高平	
	斎藤 文夫	佐々木			池田 千秋	日 下		日下、小谷、下山田、上山田	
	佐久間健一	鳥 屋			稲葉 信義	山辺里		四日市、天神岡、坪根	
	遠山かづえ	金 屋							

新任委員の紹介



10月14日	28日	26日	9月9~16日	26日	24日	4日	8月1日	26日	7月18~22日	28日	24日	23日	22日	6月14・15日	26・27日	24日	5月9日	4月26日	
農政振興部会	定例総会	定審査会	作況調査	定例総会	役員会	地域別農業委員研修会	第一回村上市農業委員会総会	定例総会	農地利用状況調査	定例総会	農地調整部会	J A 岩船米求評懇談会	農業経営改善計画認定審査会	市町村農業委員会会長長会議	全国農業委員会会長大会	定例総会	岩船農業振興協議会	定例総会	農業経営改善計画画認

新任委員の紹介



稲葉 浩之 (山辺里)



漆間 平 (大関)



稲葉 信義 (山辺里)



竹内 英治 (新飯田)



遠山 久夫 (宿田)



田中 安弘 (松沢)



齋藤 裕助 (河内)



木村 壽一 (七奏)



齋藤 文夫 (佐々木)



あとがき

昨年は、東日本大震災、台風十二号等多くの災害に見舞われ、不幸な一年でしたが、被災地の一日も早い復興が望まれるところです。また、農産行政に關してもTPP（環太平洋経済連携協定）の交渉に、参加する、しないで世論は沸騰しています。

我々農業委員広報として、農政のしつかりした基盤づくりと情報提供に貢献できるよう、農産者の立場に立って努力していく所存です。今後、温かいご指導とご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

- | | |
|--------|-------|
| 広報委員長 | 本間 進二 |
| 広報副委員長 | 鍋倉 静雄 |
| 広報委員 | 齋藤 泰 |
| 広報委員 | 鈴木 和弘 |
| 広報委員 | 富樫 照子 |

全国農業新聞

この国の農と食を伝えます。

全国農業新聞は農産者の公的代表的機関である農業委員会系統組織が発行する週刊の農業総合専門紙です。

農産者の視点でお届けします

- ① 特徴のある週刊新聞…… 解説に力点を置いたニュース報道と企画編集
- ② 時代に鋭く斬り込む…… 農政・農業・農村の動き、問題をタイムリーに
- ③ 経営に役立つ…… 経営者マインドと実務情報
- ④ 喜びや悩みを共感できる…… 読者の心に訴える
- ⑤ 深みと味がある…… 単なる情報で終わらない
- ⑥ 読みやすく親しみやすい…… 老若男女が楽しく読める

(週刊) 金曜日発行 月600円、年7,200円 (消費税込)
 ■購読の申込は市町村農業委員会へお気軽に連絡ください。
 ■発行所 全国農業会議所 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-25-5 虎ノ門34MTビル
 電話 03-5251-3910 ホームページ <http://www.nca.or.jp/shinbun>

農産者年金へ加入のお勧め

農産者年金は、農産者の担い手が「老後の安心と安定」を展望しながら農業に従事できるよう作られた農産者のための年金です。

◆ 農産者年金のポイント ◆

1. 加入要件は
 - ① 国民年金の第1号被保険者で
 - ② 年間60日以上農業に従事する
 - ③ 60歳未満の方なら男女問わずどなたでも加入できます。
2. 保険料は二万円から六万七千円までの間なら一、〇〇〇円単位で自由に決められます。
3. 終身年金で80歳までの保障付です。
4. 納めた保険料は所得税・住民税を節税できます。
5. 認定農産者などの担い手には保険料の国庫補助があります。

詳しい内容や、加入の申し込みは
最寄りの農業委員会・JAへ

11月4日～11日	農地利用状況調査 建議書提出
17日	農地調整部会
25日	定例総会
10日	秋田県都市農業委員会 会長会視察
15・16日	女性農業委員研修会
22日	農業委員会現地研修 会(企業参入対応)
28日	定例総会
12月2日	村上市農業振興地域 整備計画審議会
7日	全国農業委員会会長 代表者集会
15日	村上市議会出席(市 民経済常任委員会)
19日	農政振興部会
20日	農業経営改善計画認 定審査会
22日	定例総会
1月13日	広報委員会
18日	農政振興部会
20日	農業委員選挙人名簿 登載申請書審査会
25日	定例総会

